

大牟田市まちなか活性化協議会 摘録

- 日 時 令和4年7月22日（金） 17:00～17:50
- 場 所 大牟田市役所 北別館4階第1会議室
- 参加者 名簿の通り
委 員：15名（欠席4名、うち代理出席2名）
事 務 局：4名（大牟田市産業振興課）

□ 会議概要

1. 開 会 ～進行：事務局
出席状況報告～報告：事務局

2. 各委員等の紹介 ～事務局

事務局より、規約が定まっていないため仮議長を指名し議長決定までの議事進行を提案

～ 異議なく承認 ～

3. 議題

議題1 大牟田市まちなか活性化協議会規約（案）について ～進行：仮議長

資料1 「大牟田市まちなか活性化協議会規約（案）」に基づき報告

～資料説明：事務局

～ 異議なく承認 ～

議題2 役員選任について ～進行：仮議長

会長選任 ～説明：事務局

委員からの立候補、推薦なし、事務局（案）により正木委員を推薦

～ 異議なく承認 ～

副会長選任 ～説明：事務局

正木会長より山田委員を指名

仮議長から議長へ進行交代

4. 大牟田市まちなか活性化プランについて

(1) プランの概要について

資料2 「大牟田市まちなか活性化プラン」に基づき説明

～資料説明：事務局

【質疑応答】

（委 員）成果指標の「サードプレイス」は聞きなれない言葉。具体的にはどのような機能性を持った場所等をイメージしているのか。

（事 務 局）飲食店や理美容店などサービスの提供を主とした店舗等ではなく、利用者

同士の交流や居場所としての機能を主な目的とした店舗等を想定している。自宅（ファーストプレイス）、職場や学校（セカンドプレイス）ではない、自分にとって心地よい時間が過ごせる第3の居場所のこと。

(2) 令和4年度の主な事業について

資料4 「令和4年度の主な事業について」に基づき説明

～資料説明：事務局

【質疑応答】

- (委員) (1つめに) 「若者発！つながるまちなかづくり事業」について、参加者の募集は夏休みの時期に入ると学生を集めることが難しい。事前に打診頂きたい。
- (2つめに) 共同シェアハウスについて、入居する時期について考える必要がある。現在借りているアパートを解約してシェアハウスに入るとなると難しいので、3月中や、4月の初めなど、新学期が始まる前であれば入りやすい。10月頃から学生がアパートを決め始める。時期を考慮して、情報発信して頂きたい。
- (事務局) (1つめ) 委員に事前に打診するなど、多くの参加者を募っていききたい。
- (2つめ) 若者のまちなか居住の促進について、シェアハウスの入居時期は、新学期前後や、入学試験後などのタイミングを考慮して検討する。また、群馬県前橋市では、優遇制度を設けている。そのような検討も進めていく。
- (委員) 「若者発！」事業については、学生に届くような参加者募集の広報や周知を検討して欲しい。
- (事務局) 事業のスケジュールとしては10月1日にキックオフミーティングを予定。募集は、学校への募集チラシの配布や、SNS、市の広報を予定している。本日、学生代表として帝京大学と有明高専から委員として参加していただいている。参加の呼びかけと積極的な参加をお願いしたい。
- (委員) 「若者発！」の定員は何名か。
- (事務局) 30名程度の定員を想定。当初は広く募集することを考えているので、定員を超えた場合でも、スタート時点では広く参加していただきたいと考えている。
- (委員) ミーティングをする際に、参加者が集まり、すぐに話し合いを始めると、やりたいことの案が出にくいと思う。全国で良い事例があれば、先に案内してから始める方が、案が出やすいと思う。
- (事務局) 九州では、長崎市において取り組み実績がある。キックオフミーティングは、長崎市でのコーディネーター役を講師として招く予定。その中で、事例なども紹介して頂く。漠然と自分のまちへ貢献したい気持ちを抱えている学生などにも、広く参加して頂ければと考えている。
- (委員) 帝京大学は、医療分野に特化している。それを踏まえ、若者がそこに集ま

って楽しく取り組んでいけば、広がりが生まれてくるのではないか。

(事務局) ワークショップの中では、フィールドワークも予定。まちを歩いてまちを知ることを進める中で、学生たちからの様々なアイデアを期待している。

(委員) 全体をマネジメントする人がいるのか。

(事務局) 全体のコーディネーターを依頼する予定。コーディネーターには、まちづくりや、地域振興に長く関わってきた方で、ワークショップにも慣れている方に依頼する。

5. その他

6. 閉 会 ～事務局

事務局より、次回の協議会開催は5～6月を予定している旨を連絡。

以上